森林と人をつなぐかながわ森林インストラクターの会　2025 年令和 7 年 9 月 1 日発行　通巻第 352 号

森のなかま

２０２５年　９月号
NO.２０７（継続３５２号）

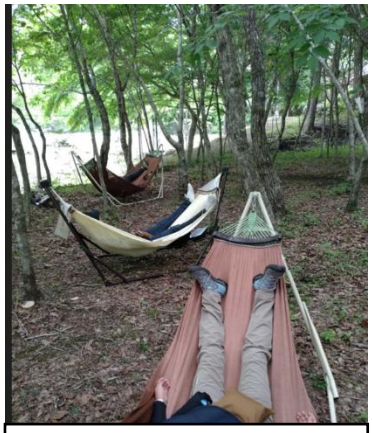
NPO法人かながわ森林インストラクターの会　http://www.forest-kanagawa.jp　　発行人　黒川　敏史
〒243－0018　厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号　℡046－297－0301・Fax046－297－0302

特別企画：やどりきの森へ行こう！　ー　第１回　五感で楽しむ森林浴

実施日：　　令和 7 年 5 月 24 日（土）　8:30 ～ 15:00　晴れのち曇り
開催場所：やどりき水源林
参加者：33 名
インストラクター：L 若林良子⑦、真貝　勝⑪、山下　剛史⑪、吉田　郁夫⑪、笠原かずみ⑭、
藤井　敏彦⑭、藤井　世枝己⑭、久次米　久美子⑯

5 月 24 日、「やどりきの森へ行こう」ー 五感で楽しむ森林浴を実施しました。

このイベントでは、バスの乗降場所が直前に変更になったこと、そしてお天気が最後まで予測しづらかったという 2 つの困難に直面しましたが、癒やし部会のチームワークによって、変更の影響を受けることもなく参加者がスムーズに楽しく癒やし体験できるように実施されました。


ハンモックに揺られて
リラックス

やどりき水源林では途中道路工事があり、バスの乗降車場所がいつものやどりき水源林のゲート前ではなく、三廻部林道前となっていましたが、より安全を考慮し、貯木場前での下車と変更となりました。

前日までに参加者の皆様に下車変更をお知らせし、参加の有無を確認しましたが、参加者は総勢 33 名の小学生から最高齢は 80 代の方まで、幅広い年齢層の方々が癒やし体験に参加していただきました。

当日は、下車場所から景色を楽しみながら秦野峠林道を４０分ほど歩き、やどりき水源林に到着しました。そこから 5 班に分かれ癒やしのプログラムを体験していただきました。

プログラムは、日頃の生活の中で酷使している五感を、やどりき水源林の自然という異なる方法で刺激し、心と身体ともに労わるように考えられたものです。

午前中は、森の中で寝ころび、いつもとは違う視線で森を眺め、森の休息方法のひとつであるハンモックを体験、やどりき水源林の新緑の中で咲くウツギやジャケツイバラなどを楽しみました。滝郷の滝では、水しぶきを受け清涼感のある空気を吸いこんだり、木伝導で耳では聞こえない河の流れの音を聴いたりと、やどりき水源林の自然を体感しました。

午後は、オリジナルのにおい袋作りです。小さな袋に乾燥した木くずを入れて参加者の方々が好むヒノキ、ヒバ、ユズなどのアロマオイルを染み込ませ小さな袋に包み、リボンで結ぶと可愛らしい匂い袋のお土産ができました。イベントの終わりには、ハーブジュースを味わいながら、自然の癒やしについて振り返りました。

参加者の皆様からは、「森の中で自然を満喫し、癒やされながら楽しい時間を過ごせた」という好意的な感想をいただいた一方で、バスの乗降場所の変更により徒歩での移動距離が長くなり、負担を感じたというご意見もありました。しかしながら、皆さんが笑顔で帰路につかれる姿を見て、やどりき水源林の自然には十分な癒やしの効果があると実感した、実りのある一日でした。

新緑の中で輝くジャケツイバラ

（記 笠原　かずみ⑭、写真 若林　良子⑦）

自然観察部会活動報告　夏の探鳥会（研修会）

日時：令和7年6月15日(日) 9：00～12：00　雨～晴れ
場所：照ヶ崎海岸（大磯）
講師：河西⑮
参加者：滝澤⑤、西岡⑭、鈴木⑭、石垣⑮、鈴木⑯、久次米⑯、小池⑰、藤田⑰、
　　川島⑱、田中⑱、伊藤⑱、堤⑱

本日は、待合わせ時は雨も小振りとなり、明るくなってきたので今後好天が予想される中スタートしましたが、その後、天候が急変、強い風と雨の中、小降りになった頃合いを見図り、探鳥会をスタート。

目的のアオバトが飛来するか否か不安に包まれつつ、見学を続けていたところ、待ちに待ったアオバトが集団で飛来、荒波の岩場に取り付きつつ、海水から塩分摂取を試みている様子は伺えたが、悪天候のため波が荒く、すぐに立ち去ってしまう状況であった。
持参の双眼鏡で、アオバトの姿を捉えようと試みたものの、中々捉えることが出来ず、瞬間、瞬間の姿しか認識できない状況であった。

その後、何度かアオバトが飛来、悪天候と荒波の中での観察が続いたが、中々アオバト本来の姿を捉えることが出来ず苦戦した。

時間がたち、幾分天候が回復した段階で、やっとアオバトを捉えることが出来た。
荒波の中、アオバトの必死な塩分接種行動を捉えることは出来たが、アオバトの色等、細かな部分まで捉えるまでは及ばなかった。

友人より、双眼鏡性能の指摘を受け、高性能双眼鏡をお借りして、再度挑戦！　高性能双眼鏡は、全体が明るく見え、アオバトの鮮やかな緑色を認識！
オス、メスの違いが分かる程までには及ばなかったものの、鮮やかな姿は確認できた。

初めての、探鳥会参加、アオバトを見るのも、もちろん初めてであったが、正直、「感動！！！」、鳥が必死に生きる姿を目の当たりに見ることが出来た事は、喜ばしい事であった。

持参した、双眼鏡の性能もあり、アオバト本来の綺麗な緑色の姿を見ることにやや苦戦したが、全体として、満足のいく探鳥会であった。

その後、浜辺植物の観察会、普段接することがあまりない浜辺植物を観察（ハマヒルガオ、テリハノイバラ、ハマダイコン、アオツヅラフジ、ママコノシリヌグイ、トベラ、マルバシャリンバイ等々）充実した時間を過ごす事が出来ました。

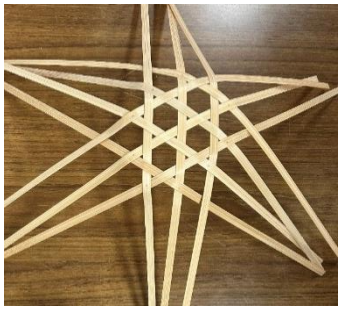
(記 伊藤　誠⑱、写真 河西　静夫⑮)

森林文化部会活動『竹細工立ち上げ部の特別研修会』

日時：令和 7 年 7 月 12 日（土）12:00～17:00 晴れ
場所：大和市泉の森「しらかしの家 1F　多目的ホール」
参加者：4 名（長尾⑪、小国⑰、田中⑱、渡邉(友) ⑱）
講師：真貝⑪

2 月に行われた竹細工教室(17 名が参加)で、「竹カゴの立ち上げ部が難しい」との意見が多くありました。今回はその立ち上げ部に絞り、有志を募って立ち上げ部の特別研修会を実施しました。講師一人でカバーできる人数には限りが有る為、今回の参加者は有志 4 名で実施しました。やはり、立ち上げ部のやり方の習得が難しく、頭から湯気が出るほどのメンバーが続出。参加 5 回目の小国⑰さんから強力な助太刀が有り、どうにか参加メンバー全員が作品を完成することができました。

《参加者の完成品》



《立ち上げ部底面より》

森林インストラクターとして、一般参加者より少し幅の広いスキルを持っている方が活動に際しても余裕をもってリードできると考え、今後もこのような活動を進めていきたいと思っています。今後は、入手が難しくなってきている“竹ひご作り”、今ではインストラクターの会でも知る人が少なくなったタオルをまとめるための“珍竹林”の製作など計画しています。

《活動風景》

(記　真貝　勝⑪、写真　末原　興一⑮)

活　動　短　信

今回の掲載はR7年6月9日からR7年8月6日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

9月(長月)(旧暦8月葉月)の二十四節気、七十二候、鳥こよみ

白露 9/7　秋分 9/23、草露白(くさつゆしろし　9/7～9/11)。草に降りた露が白く輝いて見える頃。**鳥こよみ**:先月に続き高山の鳥。亜高山帯でよく会うホシガラス。黒いボディーに白い斑点を多数ちりばめた姿。「星鳥」と粋な名前を頂戴していますが、鳴き声はしわがれたカラスかカケスのようで、山で出会ってもあまり感動が無いのは私だけ？主食の松の実の他、何でも食べる雑食性は流石「カラス」です。

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明

以下のフォーマットに沿って記載をお願いします。
本文と写真は作成せずに送付してください。送付先は最終ページに掲載。

◆ 活動団体・活動名　等

日　日付:令和x年x月x日(曜日)時間、天気
場　場所　(例:相模原市緑区　長竹承継分収林)
参　参加者　人数
県　例　神奈川県 環境農政局　緑政部
　　水源環境保全課　水源の森林推進グループ
財　(公財)かながわトラストみどり財団、看　看護師
ス　例　小田原市森林組合XX様
　　例　川崎市公園緑地協会・XX様
イ　インストラクター①　(○数字:期)　研:研修枠
活　活動内容　例　午前　間伐、午後　クラフトと自然観察

◆　寒川町立寒川小学校
環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ学校派遣事業～かながわ環境教室～

日　令和7年6月9日　(月)　9:40～12:20　曇り
場　寒川町立寒川小学校　(校庭、教室)
参　2年生3クラス74名、先生3名
イ　L井出①、谷川⑪、大原⑬、國弘⑭、石垣⑮、小国⑰、小池⑰、川口⑱、平出⑱、藤巻⑱
活　「土の中の生き物ウォチング」

2時間目からスタート。事前に校庭に仕掛けたエサつきトラップを回収し、周りの土も採取。
3時間目、教室でトラップや土の中から生き物を探し出し、名前を調べ集計表にシールを貼付。
4時間目、見つかった生き物を発表し、リーダより土とのかかわりをスライドを使って説明。
(記　小国　一男⑰)

かながわしずくちゃん Twitter は下記URLで見ることができます。

https://twitter.com/kanagawa_sizuku

◆　横浜市立上瀬谷小学校　間伐

日　令和7年6月12日　(木)　9:00～12:00　曇り
場　相模原市緑区　長竹承継分収林
参　子供 60名　大人 7名
財　神奈川トラストみどり財団　倉野様
イ　L松石⑬、野牛⑧、西出⑫、牧石⑭、佐伯⑱、鈴木⑱、田中⑱
活　間伐　(午前)

◆　県民参加の森林づくり活動　No.5相模原市南区大野台　(木もれびの森)　下刈作業

日　令和7年6月21日　(土)　8:30～14:00　晴れ
場　相模原市南区大野台　(相模原中央緑地)
参　74名
ス　相模原市、まちみどり公社、NPO相模原こもれび、木もれびの森の花と木々を守る会　(ここももの会)
財　倉野様、古舘様
イ　田島L⑰、松本⑪、西出⑫、内田⑬、松石⑬、松浦⑯、鶴田⑰、文原⑰、藤田⑰、八木⑰、柳沢⑰、伊藤⑱、植原⑱、川島⑱、神江⑱、指澤⑱
活　令和6年5月緑の祭典で植樹した苗木の草刈りによる保育作業

◆　公益財団法人 鎌倉市公園協会様
令和7年度 緑のレンジャー講座 第2回

日　令和7年6月21日(土)10:00～12:00　晴れ
場　鎌倉市　鎌倉中央公園
参　20名
ス　鎌倉市公園協会　内田様、住友様
イ　L鈴木秀⑰、安部⑤、桑島⑱

第1回の座学に続いて初めての屋外実習で、公園内作業で使用する道具一式(鋸、剪定鋏、刈込鋏、高枝鋸、太枝鋏、ロープ)の使い方講習を午前2時間で行った。
それほど蒸し暑くない晴天のもと、参加者20人を3班に分けて一人の講師に6-7人の受講生という構成で行った。
鎌倉中央公園の3方斜面に囲まれた中央平坦地を3方面に分けて、すべての道具を用いて実際の作業をしながら下草刈り、及び大枝切りを行った。高枝鋸は、広葉樹の最下層の横に広がる太枝を、ロープを使用して、安全に細心の注意を払いながら、切断作業を行った。刃物の切れ味が想定より良いことを実践で感じていただき、初回ということもあり改めて安全に対する注意を念押しした。作業後半は下草刈りが主であったが、綺麗に刈りあがった現

場を振り返り、ひと汗流してみな満足げな表情であった。道具のメンテナンスと片付けにも充分時間を割き、丁寧に講習した。比較的小規模なフィールドにも拘らず、これまでの活動では見慣れない道具もあり、広葉樹林の保全には多種な道具が必要であることも感じた。

道具の使い方実習

（記、写真 鈴木　秀明⑰）

◆　県民参加の森林づくり（下刈り）

日 令和7年7月5日（土）　9：00～15：00　晴れ
場 山北町都夫良野（共和財産区有林）
参 38名
財 豊丸様、古舘様、志村様、看大谷様
ス 山北町農林課 中村様、長田様
　共和財産区管理会 江上様、山北町森林組合
イ L内田⑰、野牛⑧、内野⑨、上宮田⑪、湯浅⑪、石川⑫、渡辺⑫、江上⑬、野村⑭、西村⑮、小野寺⑰、三浦⑰、柳沢⑰、植原⑱、平出⑱、山口⑱、
活 午前 下刈り、午後 ボランティア交流会

◆　水源事業PR（生命の星・地球博物館会場）

日 令和7年7月5日（土）、6日（日）
　10:00～15:00 晴れ
場 生命の星・地球博物館1F　西側講義室
参 249名（7/5：107、7/6：142）
イ 7/5（土）：L森本⑤、山崎⑦、草野⑧、川島⑱、藤巻⑱
　7/6（日）：L森本⑤、山崎⑦、草野⑧、小野⑮、小国⑰
県 7/5：星主事様・熊谷主事様、
　7/6：藤原主査様・星主事様
ス 7/5・6：草笛講師　師井様
活 葉巻笛、シュロバッタづくり
（記　森本　正信⑤）

◆　公益財団法人 鎌倉市公園協会様
令和7年度 緑のレンジャー講座 第3回

日 令和7年7月5日（土）　10：00～12：00　晴れ
場 散在ガ池森林公園
参 20名
ス 公益財団法人 鎌倉市公園協会　内田様　住友様
イ L國弘⑭、鈴木(秀)⑰、桑島⑱
活 公園緑地の植生の学習および管理上の問題点の検討
　次回講座の間伐・枝打ちの選木

◆　県立21世紀の森様 自然観察キッズ編

日 令和7年7月20日（日）10：00～12：00　晴れ
場 県立21世紀の森
参 1名（子供1名）
県 県立21世紀の森　野村様、鈴木様
イ L河西⑮
活 昆虫採集と自然観察

◆　神奈川トラストみどり財団　県民参加の森林づくり
間伐作業

日 令和 7年 8 月 2 日(土) 10:00～13:00 晴れ
場 南足柄市塚原（塚原水源林）
参 32人
財 神奈川トラストみどり財団　南橋様、古舘様
看 大谷様
イ L江上⑬、滝澤⑤、水野⑭、西村⑮、岡村⑯、高谷⑰、野口⑰、三浦⑰、大谷⑰、藤田⑰、川口⑱、石川⑱、繁山⑱、廣瀬⑱、山口⑱、鈴木秀⑰
活 午前: ヒノキ23年生間伐、合計23本伐倒（うち1本掛木状態、暫定危険領域設定、トラストより8月中の処理依頼あり）

かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目／NPO法人で初めて委嘱されています。

◆　神奈川県水道記念館・水源の森林観察会

日 令和7年8月6日（水）10:00～15:00　晴れ
場 やどりき水源林
参 27名
財 トラストみどり財団　倉野様
イ L牧石⑭、上宮田⑪、西岡⑭、藤巻⑱
活 午前　自然観察、午後　水生生物観察

人も自然もいきいき 丹沢

丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページでご覧ください。http://www.tanzawasaisei.jp/

やどりき水源林ミニガイド

「やどりき森の案内人」

毎週土曜･日曜の午前10時と午後1時から「NPO法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。詳しくはこちらからご覧ください。
https://www.forest-kanagawa.jp/4field.html

「やどりき水源林ニュース」

過去号は上記リンク先からご覧になれます。8月号は「夏の暑さから逃れて、やどりき水源林の豊かな緑につつまれませんか。」

森のなかまは過去号もご覧になれます

（ホームページ）https://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01

（HP担当：森本　利弘）

◇　森のなかま原稿募集　◇

会員読者の皆様から広く募集しています。原稿は随時受付けています。

＜広報全般お問い合わせ＞
河西　静夫
skasai0618@gmail.com

＜電子配信会員向け担当＞
小池　宗子
muneko-sakura@outlook.jp

＜本誌、別冊原稿送り先＞
河西　静夫
skasai0618@gmail.com
小国　一男
ka-oguni@ab.auone-net.jp

受信漏れを防ぐため本誌、別冊とも上記に2名にお送りください

森林探訪ガイドブック　好評販売中！

『森林探訪ガイドブック』は、かながわの自然を愛する森林インストラクターが力を結集して企画・編集したガイドブックです。

A5フルカラー52頁、動植物や史跡等の写真多数、地図、高低差図、ミニ動画ガイド付きです。**在庫がなくなり次第、販売終了**となりますので、お早めに購入申込みしてください。定価：相模川以西、相模川以東　各７００円（税込）

◇　編集後記　◇

★　以前、広報部でご活躍だったT氏が、編集後記で「オニヤンマ君」について触れていました。最近、18期のＫ氏が身に着けていたのが目にとまりました。２年連続でハチに刺された筆者は、藁をも掴む思いで、オニヤンマ君モドキを一つ100円で三つ買い求めました。質の高い科学的な証拠はない、という意見もありますが、どうやら今のところ被害を受けずにおります。廉価なので羽が取れやすいという弱点はありますが、信じる者は救われます。（小池む）

★　皆さん酷暑の今夏、どうお過ごしでしょうか。当方の住まいは狭い集合住宅なので、唯一のエアコンを居間に設置、就寝時は寝室とのドアを開放し、冷気を回しています。心配なのは、エアコンの故障です。夏場は修理や新設に相当の期間がかかるらしい。暑さが落ち着いたら、予備も兼ねて寝室へのエアコン導入を考えています。なので、それまで故障しないよう、日々祈っております。（小国）

★　暑い日をどのように過ごしますか?
４０℃を超える異常気象が続いていますが皆様如何対処されていますか？クーラの聞いた部屋の中に沈むより、むしろ暑い中を日本橋から沼津まで旧東海道を歩いてみると言うのはいかがでしょうか？日本橋から京都までの全126里6町1間(495.5km)に、後に五拾参次と呼ばれる宿場駅を配置し、最初の継ぎ立て駅を品川にしました。日本橋から10番目の宿場駅で、三枚橋から畑宿を経て箱根宿へ、箱根八里を超えて三島に至る道です。小田原から箱根を越えて三島に至る道が東海道として開かれたのは、徳川家康が関ケ原の戦いに勝利を収めた後のことで、それまでの箱根越えは、古くは『古事記』や『日本書紀』などで神の住む坂とされた足柄の御坂を越える道でした。江戸時代に入り、箱根旧街道として知られる道が東海道となりました。私は日本橋から6宿目に当たる藤沢宿まで極力、旧東海道を歩きました。広重の絵画やお寺の謂れを調べて目的地まで到達すると達成感が勝り、暑さは吹き飛びますよ！如何でしょうか？（小林）

やどりき水源林問合せ：(公財)かながわトラストみどり財団
TEL ： 045-412-2255　/　FAX：045-412-2300
https://ktm.or.jp/　Mail: midori@ktm.or.jp

かながわ森林インストラクターの会
https://www.forest-kanagawa.jp/　Mail: kinst0981@friend.ocn.ne.jp

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。
郵便振替口座00230-0-2454　**かながわ森林インストラクターの会**宛まで２０００円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回／1年間お届け致します。

編集人：　河西　静夫
広報部：　黒川　敏史、　松本　保、
笠原　かずみ、　長尾　晴子、小林　照夫、
大友　博道、小国　一男、小池　宗子、
森本　利弘
支援：　大原　正志、吉田　郁夫